

はたらく No.16

障害のある人の就労を応援する

2022.December

特集:障害者雇用の取組紹介

意欲のある従業員を育てる

葛城工業株式会社 王寺工場

就労・生活支援事例紹介

やりがいをもって共に働き、夢を叶える

株式会社パル Discoat

奈良県障害者政策推進トップフォーラム

障害者雇用支援制度

奈良県・奈良労働局

障害者施設で作成しました

【写真】葛城工業株式会社王寺工場働く西川さん

障害者就労支援機関

公共職業安定所

ハローワーク奈良	〒630-8113 奈良市法蓮町 387(奈良第3地方合同庁舎内)	TEL 0742-36-1601 FAX 0742-36-1608
ハローワーク大和高田	〒635-8585 大和高田市池田 574-6	TEL 0745-52-5801 FAX 0745-53-4181
ハローワーク桜井	〒633-0007 桜井市外山 285-4-5	TEL 0744-45-0112 FAX 0744-45-3990
ハローワーク下市	〒638-0041 吉野郡下市町下市 2772-1	TEL 0747-52-3867 FAX 0747-52-0406
ハローワーク大和郡山	〒639-1161 大和郡山市観音寺町 168-1	TEL 0743-52-4355 FAX 0743-55-0670

障害者就業・生活支援センター

なら障害者就業・生活支援センター コンパス	〒630-8441 奈良市神殿町 656-4(2階)	TEL 0742-93-7535 FAX 0742-93-7537
なら東和障害者就業・生活支援センター たいよう	〒633-0091 桜井市桜井 232 ヤガビル 3階 302号室	TEL 0744-43-4404 FAX 0744-43-4404
なら西和障害者就業・生活支援センター ライク	〒639-1134 大和郡山市柳 2-23-2	TEL 0743-85-7702 FAX 0743-85-7703
なら中和障害者就業・生活支援センター ブリッジ	〒634-0812 橿原市今井町 2-9-19 今井長屋 1	TEL 0744-23-7176 FAX 0744-23-7181
なら南和障害者就業・生活支援センター ハロー Job	〒638-0821 吉野郡大淀町下淵 158-9	TEL 0747-54-5511 FAX 0747-54-5501

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構

奈良支部	〒634-0033 橿原市城殿町 433	TEL 0744-22-5232 FAX 0744-22-5234
奈良支部 奈良障害者職業センター	〒630-8014 奈良市四条大路 4-2-4	TEL 0742-34-5335 FAX 0742-34-1899

発行元 奈良県福祉医療部障害福祉課
〒630-8501 奈良市登大路町30番地
TEL 0742-27-8514 FAX 0742-22-1814

奈良労働局職業安定部職業対策課
〒630-8570 奈良市法蓮町387番地
奈良第3地方合同庁舎2階
TEL 0742-32-0209 FAX 0742-32-0225

作成 社会福祉法人ぶろぼの
〒630-8115 奈良市大宮町3丁目5-39 第3やまと建設ビル 201号
TEL/FAX 0742-81-7032

令和4年12月発行

障害者雇用の取組紹介

葛城工業株式会社 王寺工場



erview
意欲のある従業員を育てる
チャレンジから育成へ

金属の部品を機械に通すと、ネジが打ち込まれ、奥側に落ちる。この機械の操作がこの日の西川さんの仕事だ。

会社紹介

葛城工業株式会社は、建築金物の製造販売、板金部品・プレス部品・機械加工部品の製造・組み立てから検査、梱包、発送まで一貫して取り扱われており、178名の従業員が働いています。鉄やステンレスなどのフレームやパイプ・アングルの加工を中心に取引先にはTOTO、LIXIL、YKK AP、タカラスタンダードなど業界のトップメーカーが連なり、ISO9001を取得するなど、特に品質管理に力を入れています。

北葛城郡広陵町にある本社工場は、昭和49年に創業し、現在で



葛城工業株式会社 王寺工場 外観

は、本社工場に加え、王寺工場（北葛城郡王寺町）と三重工場（三重県伊賀市）が稼働しています。

現在の障害者雇用の状況としては、知的障害のある人を3名、身体障害のある人を4名雇い入れています。今回の取材では、平成24年に新設された王寺工場で正社員として活躍されている西川寛人さんの雇用事例についてお話を伺いました。

障害者雇用のきっかけや経緯

「うちでは、障害者雇用を特に意識するとか、力を入れるとか、そういうことはなかったですね。」と、同社取締役総務部長の瀬上さんは淡々と話されます。「10年以上前に県立高等養護学校の卒業生を雇い入れたのが最初でした。『きつと仕事



取締役総務部長の瀬上さん

ができる生徒だと思うので、一度実習させていただけないでしょうか。』と学校の進路指導の先生が会社を訪ねて来られました。それまでは障害のある人とはどんな人たちが、全く知りませんでした。数字が苦手な生徒だということでしたので、それでは障害というほどではないかと思ひ、実習を受け入れることにしました。」と当時のことを話されます。もうひとつのきっかけは、製品の梱包などの単純作業を同社の工場内で障害者支援施設（社会福祉法人ぶろぼの）の利用者が職員とユニットを組んで受託した作業を行う施設外就労の申し出を受けたことだそうです。当時は、取引先から単純作業を主とする業務を受注していたため、障害のある人によっていただける仕事を提供することができのたものであればと、その障害者支援施設に業務委託することになったとのこと。これらのおかげで同社の障害者雇用が始まりました。その後、ハローワーク主催の就職面接会に参加する他、パートタイマー応募

者の中に身体に障害のある人がいたことも含めて、現在では、7名の障害のある人が活躍する会社になりました。

意欲のある従業員を育てる

代表取締役の吉岡弘修さんが、同社の障害者雇用の事例のひとつを紹介してくださいました。

「雇い入っていた身体に障害のある青年が、正社員として雇い入れてくれる介護職へ転職したいと辞めていったことがありました。当時の彼の仕事実績から正社員にすることは難しいと判断していたこともあり、本人が決めていたことなのでやむなしと考え彼の退社を受け入れました。その後、しばらくしてから彼は現場の責任者のところに『自分の働く会社が葛城工業株式会社だということの方が分かりました。自分の足で立って生活がしたい。』と連絡してきました。現場の責任者から、もう一度彼にチャレンジさせてみたいとの推薦がありましたので『意欲のある

従業員を大事に育てる。』という弊社の理念を生かして、再度雇い入れることにしました。その後、現場に戻ってきた彼はメキメキと実力を発揮するようになり、現在では正社員として生き生きと活躍されています。」

この青年が今回の取材に協力してくださった西川さんです。西川さんは、右手に障害がありますが、自分で工夫しながら苦手だった手先の作業を克服して働いています。

彼が働く王寺工場の2階のフロアは、組み立て作業を担当する従業員13人が働いています。ブーンという機械の音が低く小さく響き、金属がチャリンと触れる音が聞こえる一角で、若者らしく髪をライトにカラーリングした西川さんが、背丈より少し高さのある機械の前に立って作業に取り組んでいました。



代表取締役の吉岡さん



葛城工業株式会社王寺工場にて。左から瀬上さん(総務部長)、西川さん、榎野さん(グループリーダー)



イラスト入りで仕事の流れがわかりやすく説明されています。

トがあります。」

チャレンジすることは、スキルアップを目指す西川さん自身とその意欲を受け止める会社との両者によって可能になるものだと思います。

瀬上さんは「今の単純作業の仕事の注文が将来も続くかどうか先のことはわかりませんが。」と現実も見据えておられます。

障害がある人の就労が続いていくためには、就労支援施設や学校など関係する機関の支援に加えて、職場の上司や同僚などの障害がある人への理解や配慮は欠かせません。

そして、障害がある人の多様な就

会社名 葛城工業株式会社
 本社工場 奈良県北葛城郡広陵町沢338
 TEL 0745-56-6335 FAX 0745-56-3112
 王寺工場 奈良県北葛城郡王寺町畠田1丁目220-1
 TEL 0745-73-6088 FAX 0745-73-6099
 代表者名 代表取締役 吉岡 弘修
 創業開始 昭和49年(1974年)
 事業内容 建物金属の製造販売

※ 奈良県障害者雇用優良事業所知事表彰
 令和4年度受賞

労ニーズを踏まえた柔軟な働き方と、5年後、10年後の自分のありたい姿を思い描き、やりがいをもって働くことができるキャリア形成を支援する取組など、雇用の質に視点を向けていくことも重要になってきています。

最後にフロアを見渡しながら、瀬上さんが「榎野グループリーダーはね、優しいところがあるんですよ。」と一言つぶやかれました。システム化や数値化できないものに支えられていると感じた一言でした。



笑顔で語る西川さん

半年ほどで介護職を退職し、就職先を探る中、葛城工業の現場の上司でグループリーダーの榎野さんに連絡を入れ、「もう一度、葛城工業株式会社で働きたい。」と再就職の意欲を伝えました。

自分で考え仕事に真摯に向き合う彼の姿勢を良く理解していた榎野さんは、「それなら工場長に話をしてみるよ。」と即答したそうです。榎野さんは早速、上司の工場長に西川さんから連絡があったこと、チャレンジする機会を彼にもう一度与えてあげてほしいことを願い出しました。

このことが社長に伝わり、前述のとおり復職が実現することになりました。再びパート社員としてスタートすることになりましたが、西川さんは「再就職が決まった時に正社員になりたいと言わなかったけれど、またここで頑張ろう、いつか時給が上がるといいなあ。」と思っていたそうです。

その後、彼の熱心な働きぶりが高く評価されることとなり、今年の4月に念願の正社員となることになりました。

西川さんは、岡山県にある職業訓練校の紹介で同社に研修に来たことを機に、8年前にパート社員として同社に就職しました。数年同社で働いた西川さんは、その後一度退社して介護職に転職しました。転職をした理由について本人に尋ねてみると「まあ、お金ですね。」と率直な答えが返ってきました。自立した生活をしたいという意欲があるからこそ、正社員になってより高い収入を得た

いと考えていたようです。

転職して望みどおり正社員として就いた介護の仕事でしたが、働いてみて、介護職は様々な人にケースバイケースで対応しなくてはならない仕事なので自分は人と接する仕事には向いていないということ、また、収入は確かにアップしたけれど葛城工業での残業を含む収入と比べてみれば大差はないということに気づいたようです。

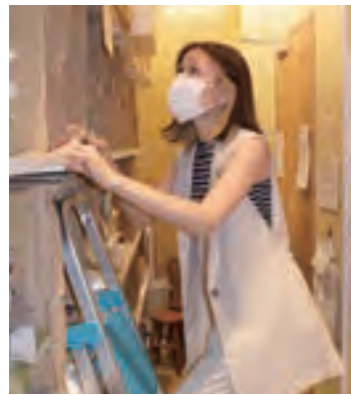


榎野グループリーダーのもと、13人が働く2階のフロア。西川さんもその一人。

チャレンジから育成へ

榎野さんは、西川さんのことをこう語ります。「どうすればできるのか、自ら考える姿勢が彼にはありません。機械を操作する際、効果的な方法を自ら考えて工夫しています。昨年ごろからは、徐々にこれまでの仕事以外のことへの意欲も出てきて、半自動機(ロボット)を使う仕事にも取り組んでいます。本人に意欲があるから、『こんなことしてみよう?』という声もかけやすいんですよ。チャレンジしてこなせる仕事が増えれば欠員が出たときに替わってもらえることができ、会社にとってメリッ

やりがいをもって共に働き、夢を叶える



何事にも積極的な仕事ぶり

卒業後の進路について、担任の先生や進路指導の先生、そして家族とも時間をかけて相談していましたが、「小さい時から服が好きで将来はアパレル関係に就きたい！でも聴覚に障害があるから無理かな。」と諦めかけていた時、お兄さんの「好きでもない仕事に就いて後悔するんやったら、好きな仕事に就いて後悔した方がいいんじゃないか。」という一言が胸に響き、アパレル関係を進路先に決めることになりました。その頃、アパレル関係で働いていたお兄さんの前向きなアドバイスが心を大きく動かすきっかけになりました。

決断のきっかけ

就労・生活支援事例紹介

やりがいをもって共に働き、夢を叶える

本誌では、これまで障害がある人の就労について、職場の上司や同僚など周囲の方々の配慮や理解が重要であるとともに様々な障害者雇用支援制度があることを紹介してきました。一方で、障害のある人が職場でやりがいをもって働き続けるためには、本人の希望や夢を叶えようとすることも重要な要素のひとつであると思います。そこで、今回は、アパレル業界で働きたいと小さい頃から思い描いてきた将来への夢を叶えて、日々笑顔で働く聴覚に障害がある方を紹介します。

仕事は楽しい

県立ろう学校からの依頼を受けて障害福祉課就労連携コーディネーター（注）が、職場実習の受け入れ先を探していたところ、株式会社パルにて職場実習を受け入れていただけることになりました。

その後、就労連携コーディネーターの仲介により、県立ろう学校と同社の障害者雇用担当者が話し合い、現在、勤務しているイオンモール大和郡山にあるDiscoatにて5日間の職場実習が実現することになりました。

大好きな服に囲まれて仕事をすることに毎日わくわくと興奮していたそうです。何事にも前向きに取り組む中山さんの仕事ぶりに、周囲のスタッフも温かく応援してくれました。今回の実習を通して「仕事は楽しい。」と強く感じ、中山さんは大きな収穫を得たようです。

休日は、街へおでかけ

在学中に実施した職場実習での熱心な仕事ぶりが評価され、就職が決まりました。

就職して4か月あまりが過ぎた先日、ショッピングマナージャーの土井さんに中山さんの様子についてお伺いしました。

「いつも生き生きとした笑顔で意欲的に働く中山さん。弊社が大事にしている『共に働く』『夢を叶える』の2つのテーマを実現させて頑張っている姿にスタッフみんなが彼女を応援しています。」と笑顔でお話してくださいました。

就職してから勤務日はクタクタに疲れても、休日は大阪や京都へ買い物に出かけて「街ブラ」を楽しんでいるとのこと。最近は、髪を少し染めてみたり、さりげない着こなしを楽しんでみたりと働きながら大好きなおしゃれを楽しんでいるようです。



バックヤードで商品整理をする中山さん

職場実習を体験して感じたこと

中山空美さんは、令和4年3月に県立ろう学校（奈良県大和郡山市）を卒業し、同年4月から株式会社パルに就職することになりました。現在、イオンモール大和郡山にあるDiscoat（ディスプレイコート）というアパレルショップで働いています。

県立ろう学校在学中に、学校の先生や家族の勧めで、県庁や金融機関などオフィスでの事務補助の仕事を経験する職場実習に参加しました。聴覚に障害があるため、パソコンを使った事務系の仕事に就くことで安定した就労につながるのではないかと周囲からの意見を受け入れたことでした。

職場実習では、様々な事務補助の仕事を経験することができたのですが、自分のやりたい仕事があると感じることはなかったそうです。



店舗で商品整理をする中山さん

（注）奈良県では、障害がある人の就労の拡大を図るために、就労連携コーディネーターを障害福祉課に3名配置しています。企業等へ訪問し、職場実習受け入れの拡大および調整等を行っています。

会社名 株式会社パル
大阪本社 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
京阪神御堂筋ビル10階
TEL:06-6227-0308 FAX:06-6231-1056
東京本社 東京都渋谷区神宮前6丁目12-22 秋田ビル4F
TEL:03-5468-8295 FAX:03-5468-1298
代表者名 松尾 勇
創業開始 平成28年(2016年)
事業内容 婦人服・紳士服・雑貨等の企画・製造及び卸・小売



奈良県障害者政策推進 トップフォーラム

意見交換テーマ 障害のある人が、やりがいをもって働くために

障害のある人が誇りをもって人生を歩むことができ、誰もが社会の一員として包み込まれお互いに支え合う地域社会の実現を目指し、県内各界のトップが障害のある人を取り巻く課題を共有し、障害者政策を総合的に推進するために、12回目となる「奈良県障害者政策推進トップフォーラム」を令和4年9月1日(木)に奈良ロイヤルホテルにて開催しました。障害者雇用優良事業所等知事表彰、「障害者はたらく応援団なら」登録証の交付(P9に詳述)を行った後、県、国機関、経済界、労働界、市町村、学校、障害者団体等のトップによる活発な意見交換を行いました。また、植村牧場株式会社代表取締役の黒瀬様よりご講演いただきました。(P11～P12に詳述)

課題

- 障害のある人が企業等の職場で働く場合、職場の上司や同僚などの理解や配慮に加えて、障害のある人の多様な就労ニーズを踏まえた柔軟な働き方の推進が重要。
- 職場で仕事にやりがいをもって生き生きと働くためには、障害のあるなしにかかわらず、主体的なキャリア形成(5年後、10年後の自分のありたい姿を思い描き、理想像に近づけていくプロセス)を支援するなど、雇用の質に視点を向けることも重要。

出席者からのご意見

- テレワークによる就職支援において、就職後に一度退職してしまっただ方にも月1回以上連絡をとるなどサポートを続けたことで、新たに就職することができた事例があり、継続的なサポートが非常に大切であると感じた。

荒井知事コメント

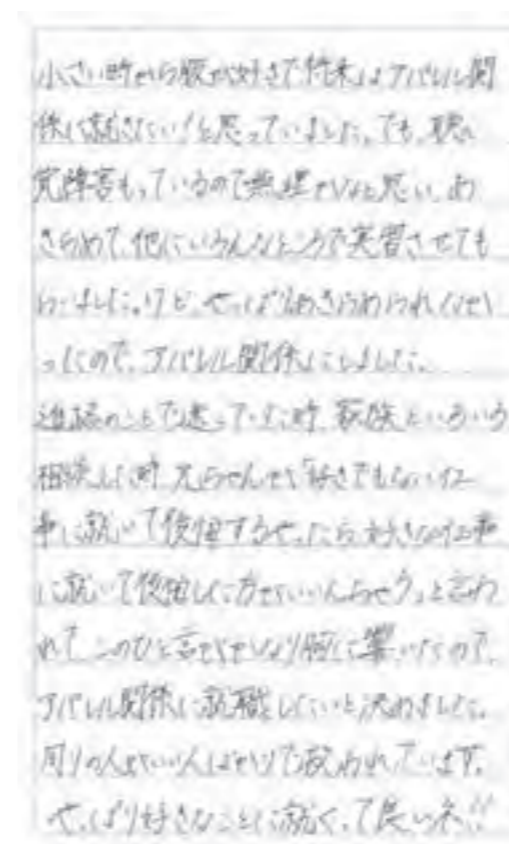
- 障害のある人、企業、支援者にとって、大事なのは困ったときに誰かに相談すること。障害のある人を一人にせず、失敗しても怒るのではなく、支援するという考えで相談に乗ってほしい。等
- 精神障害・発達障害の方を採用する場合は、十分な知識と準備、関係機関のサポートが必要不可欠であると思う。
- 障害者福祉条例を作ろうとしている。その中で施策を体系化し、医療、教育などの異なる分野も含め、官民が協働して力を合わせて進めていくことを大きな柱にしたい。
- 人生切れ目なく支援をするということが大切。障害のある人のライフステージに着目して、切れ目なくつなぐというのは、地方の行政でしかないこと。



コメントする荒井知事



意見交換の様子



中山さんの直筆コメント

今回の取材に協力してくださった県立ろう学校の担任の先生は、「服のコーディネートについてアドバイザーをしてくれる姿に、成長を感じました。」と久しぶりに出会えて嬉しそうにお話してくださいました。

ノーストレスで働く

中山さんの仕事は、バックヤードでの商品管理の仕事が中心ですが、仕事の正確さは抜群とのこと。上司からの仕事内容の指示は、筆談とタブレットのUDトークのアプリを使って行い、困るような場面はあまりないとのこと。同僚のスタッフとの普段のコミュニケーションは、筆談やタブレットよりポディランゲージの方がレスポンスが良く「最近ではスタッフのみなさんのポディランゲージが上達してきたので『ノーストレス』で働いています。」と笑顔で伝えてくれました。

職場のチームワークの良さが働きやすさにつながっていると感じます。おしゃれを楽しみながら生き生きと働いている姿に、将来の進路を自分で決めて、やりがいをもって働くことの素晴らしさにふれることができ嬉しく思いました。



中山さん(左)とショップマネージャーの土井さん(右)

障害者はたらく応援団なら

奈良県と奈良労働局が共同で運営する「障害者はたらく応援団なら」は、意見交換会の開催、職場実習の実施、就労支援セミナーの開催等、官民が一体となって一般企業等への障害者就労を支援する取組を行っています。

登録企業・団体等の皆様にご協力をお願いしている3つの応援

職場実習拡大への応援 職場実習先の提供 <ul style="list-style-type: none"> ● 職場実習の積極的な受入等 ● 障害者雇用ノウハウの提供 	障害者理解への応援 各種取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ● 障害者雇用に向けた周知・啓発 ● まほろば「あいサポート運動」への参加、実施 	働き続けるための応援 職場定着への支援 <ul style="list-style-type: none"> ● 支援機関と連携した職場定着支援 ● 個別ケースへの助言
---	--	---

県内の登録企業一覧 ※奈良県内で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

■ 製造業 ケイミュー(株)奈良テクノセンター(外壁材製造) (株)ジェイテクト奈良工場(自動車部品製造) 奈良積水(株)(積水ブランドのユニットバス部品の製造) セキスイハイム工業(株)近畿事業所(住宅製造) GMB(株)(自動車部品製造) 第一化工(株)(各種プラスチック製品の製造) 天理化学工業(株)(合成樹脂製品の製造) シンワ精機(株)(機械部品製造) 光洋機械工業(株)結崎工場(自動車部品製造) 福西メリヤス(株)(靴下製造) (株)三久工業(金属加工全般) 葛城工業(株)(建築金物製造・販売)	■ 製造販売業 佐藤薬品工業(株)(医療品製造販売) タビオ奈良(株)(靴下卸・販売) ラック産業(株)(繊維製品卸・販売) (株)呉竹(墨、書道、筆記用具等の製造・販売)	■ 金融業 奈良中央信用金庫(金融機関) (株)南都銀行(金融機関)	■ 旅客運送業 奈良交通(株)(旅客自動車運送)	■ 宿泊業 (株)奈良ホテル(宿泊施設) (株)マイステイズ・ホテル・マネジメント【奈良ロイヤルホテル】(宿泊施設) (株)ホテルマネジメント【ホテル日航奈良】(宿泊施設)	■ 小売業 (株)いそかわ(スーパーマーケット) 市民生活協同組合ならコープ(共同購入販売)	■ 飲食サービス業 (株)アドバンス(日本マクドナルド株式会社フランチャイジー)	■ 印刷業 (株)アイブリコム(各種紙媒体の制作・印刷)	■ 医療・福祉業 ウェルコンサル(株)(各種介護サービス等) (福)恩賜財団済生会中和病院(病院・老人保健施設) (福)うねび会(各種介護サービス等) (福)協同福祉会(各種介護サービス等) (福)清光会(各種介護サービス等) (福)奈良市社会福祉協議会(介護保険等社会福祉に関する事業) (福)万葉福祉会 万葉苑(特別養護老人ホーム) (福)萌(障害福祉サービス事業)
---	---	---	------------------------------------	--	---	--	--	--

■ 医療・福祉業 (福)ぶろぼの(障害福祉サービス事業) ヒューマンヘリテージ(株)(各種介護サービス等) (福)三寿福祉会(各種介護サービス等) (株)ハートフルコープよしの(障害福祉サービス事業) (福)仁南会(各種介護サービス等) (医)清和会(各種介護サービス等) (福)奈良市和楽園(各種介護サービス等) 三宅(株)(各種介護サービス等)	■ 農産物加工業 (株)ハートフルコープなら(農産物の加工:ならコープ 特例子会社)	■ 酪農業 植村牧場(株)(酪農、乳製品製造・販売)	■ 物品リース業 小山(株)(寝具等リース・販売)	■ ビルメンテナンス業 アスカ美装(株)(総合的ビルメンテナンス業務) (株)KBS(総合的ビルメンテナンス業務) (株)シティサービス(総合的ビルメンテナンス業務)	■ 農業 (株)バンドラファームグループ(農業生産・加工・販売)	■ その他事業 (株)CWS(個配物流システム業務等) なんとチャレンジド(株)(対事業所サービス業:南都銀行特例子会社)
---	--	--------------------------------------	-------------------------------------	---	--	--

県外の登録企業一覧 ※奈良県外で雇用保険の加入手続きを行っている事業所

■ 小売業 イオンリテール(株)(総合小売) (株)エーコープ近畿(生鮮食品を中心としたスーパーマーケット) (株)近商ストア(総合スーパーマーケット)	■ 製造販売業 富士フィルムビジネスイノベーションジャパン(株) 大阪支社(複写機などの各種情報機器販売)	■ 運輸業 ヤマト運輸(株)(宅配便等)	■ 飲食サービス業 スターバックス コーヒー ジャパン(株)(コーヒー及び関連製品の販売) (株)王将フードサービス(食品製造・販売)	■ 不動産総合管理業 大和ライフネクスト株式会社(総合ビルメンテナンス業務)
--	--	--------------------------------	--	--

令和4年9月現在 計59社(下線は令和4年9月登録)

令和4年度 奈良県障害者雇用優良事業所等 知事表彰

奈良県では、障害のある人を積極的に雇用した事業所、障害者雇用に著しく貢献した団体又は個人、職業自立について成果の著しい障害のある人に対して努力をたたえるとともに、県民に周知し障害のある人の雇用促進と職業の安定に資するために知事表彰を行っています。以下の2事業所は、「障害者はたらく応援団なら」にも新たにご登録いただきました。

葛城工業株式会社

昭和49年(1974年)に北葛城郡広陵町にて建築金物の製造販売業として創業し、板金部品、プレス部品、機械加工部品の製造・組み立てから、検査、梱包、発送まで一貫して取り扱われています。県内の特別支援学校からの職場実習の受け入れや障害者就労支援機関との連携も密に行い、令和4年3月には、県内の特別支援学校の卒業生を雇用されています。



株式会社 三久工業

昭和57年(1982年)に創業されて以来、プレス加工・切削加工・レーザー加工など、あらゆる分野での金属加工に取り組まれています。令和3年(2021年)春には、香芝市良福寺に奈良第2工場が完成し、自動車部品・建築金物・電器部品等幅広い分野にわたり、市場のニーズに合わせた対応(試作から量産まで)を行っており、あらゆる金属製品の生産に取り組まれています。障害のある従業員への支援については、地域の障害者就業・生活支援センターと連携した取組を進めておられます。

※当日は、会社行事によりご欠席

令和4年度 「障害者はたらく応援団なら」新規登録証の交付

「障害者はたらく応援団なら」は、奈良県と奈良労働局が締結している雇用対策協定の取組のひとつとして、障害者雇用の支援を強化するために、平成26年2月に創設し、県と奈良労働局が共同で運営しています。令和4年度、4社が新規に登録され、計59社にご登録いただいています。

大和ライフネクスト株式会社

昭和58年(1983年)に大和ハウスの戸建住宅に必要な引越事業を展開するため大阪市西区に設立され、現在は東京、赤坂に本社機能を有する会社です。主な業務としては、マンション管理事業、商業施設等管理事業などを行っています。令和3年度には、グループ会社の大和ハウス工業が奈良市内に「みらい価値共創センター」を建設し、障害のある人を新たに雇用すると共に様々な視点からサポートできる専門の資格を有した社員を配置しています。



三宅株式会社

平成17年(2005年)より、通所介護事業所「デイサービスときの森」の他、居宅介護支援事業所を運営されています。常に「自立」、「しあわせ」、そして「まだまだこれから」を合い言葉に、利用者の幸せを第一にしたサービスを提供されています。この取組を精神・知的・身体障害のある方にも広げようと、デジタル関連の業務に多くの障害のある方が従事することができるとともに、障害者就労継続支援事業への取組も始められました。



精神障害や発達障害のある人は、知的障害のある人に比べて仕事の理解が早いと思っていました。実際は理解できていないことがあり、牛の餌やりの量が分からなかったり、消毒液を周囲にベチャベチャにこぼしてしまったりすることがありました。また、先輩の知的障害のある従業員に仕事を代わりにさせたり、同僚の嫌がる行動やお金を介したトラブルなど、これまでの知的障害のある人とは違ったトラブルがあります。その度に「ことに注意を払っていましたが、最近では牧場の生活に慣れてきたことで、そんな場面も少なくなってきました。」

悩みや課題の実際

きました。障害特性の違いにより、コミュニケーションスキルに課題のある人をどう雇用していくのか。従業員同士の人間関係からくるトラブルへの対応など、知的障害がある人の雇用では経験したことのない問題や課題に直面することになり、悩みは尽きません。

お互いが助け合う世の中へ

一人ひとり違った人がみんな一緒に生活しています。障害がある人の働きがいや生きがいを追求することは、働きやすい環境への改善につながる可能性を秘めています。障害がある人の働きやすい環境は、誰にとっても働きやすい環境になると思います。

助けを求めている人に、そっと手を差し伸べ、互いに助け合える世の中になれば良いかと常日頃思っています。この思いは、彼らと一緒に生活している中で、彼らから学んだことだと思っています。



奈良県障害者政策推進トップフォーラムでの講演

精神障害や発達障害がある人の雇用に取り組む

くろせ れいこ

植村牧場株式会社 代表取締役 **黒瀬 礼子 氏**

奈良市内にある植村牧場株式会社は、知的障害のある人を長年雇用し続けてこられました。近年では、精神障害のある人や発達障害のある人の雇用にチャレンジされています。4代目社長の黒瀬礼子様より、本年度の奈良県障害者政策推進トップフォーラムにて、障害者雇用について現場の悩みや課題を中心に講演いただきました。



創業明治16年、奈良で一番古い牧場

植村牧場は、近鉄奈良駅から北東へ約2キロの住宅地の中、コスモスで有名な般若寺の向かいにあります。創業は明治16年、県内で最も古い牧場で、敷地面積は約6600平方メートルあります。昔ながらの牛乳屋として地域に根ざし、敷地内にはレストランも併設するほか売店もあり、牧場の見学はもちろん、搾りたての新鮮牛乳、ソフトクリーム、お食事なども楽しんでいただき、地元の人々との深い交流も大事にしています。



牛舎には38頭の乳牛の他、山羊、羊も飼育されています。

長所を生かす

40数年前から障害者雇用に取り組んできた植村牧場は、障害者雇用の先駆けとも言われてきました。様々な機関の協力があって、細々とありますが経営を続けてこれたと思っています。障害者雇用は、ハロワのすすめで知的障害のある人を雇ったのが始まりですが、当初は障害がある人のことを理解していた訳ではありませんでした。

彼らのできる仕事は一人ひとり異なりますが、それぞれに得意な仕事や長所があり、それに特化したスペシャリストを作っていくと考え、障害者雇用を進めていった訳です。

植村牧場の仕事は、早朝から始まるために住み込みから始めてもらって、その後は植村牧場グループホームで共同生活しています。

彼らに仕事を教えることは大変ですが、今では雇用して本当に良かったと思っています。しっかりと雇用されれば、仕事を身に付けることができ、本人は楽になっていくと確信しています。

これからの障害者雇用

これまで雇用してきた知的障害のある人たちは、加齢により仕事処理能力の低下が目立つようになり、福祉施設への移行を考えざるを得ない従業員が徐々に増えてきました。

そこで、新たな雇用を考えることが必要となり、地域の障害者就業・生活支援センター等からの紹介により、精神障害がある人や発達障害がある人の雇用に取り組むことにしました。

これまでの職一体型の雇用の他、自宅から通勤する方にも対応できるように作業の切り出しも再検討してい



植村牧場の牛乳で作ったクリームコロッケランチは大人気です。

※映画監督の河瀬直美さんが命名し、看板は書道家の紫舟さんの直筆です。

植村牧場内にあるレストラン「いちづ」に、知的障害のある人を雇い入れています。障害のある人が一途(いちづ)に働いている姿があります。植村牧場に来てくださる方が、ほっこりしていただければありがたいなあと思っています。

レストランいちづ

営業時間：11:00～16:00
ランチタイム(11:00～14:00)
カフェタイム(14:00～16:00)
TEL:0742-26-7776
定休日：水曜日(年末年始 休み)



植村牧場株式会社

〒630-8102 奈良県奈良市般若寺町168
TEL:0742-23-2125 Fax:0742-23-2126
開館:8:00～17:00(受付随時)
売店:11:00～15:00(12月～3月閉店)
HP:https://www.uemura-bokujo.co.jp
メール:info@uemura-bokujo.co.jp
アクセス:JR・近鉄奈良駅から奈良交通バス
青山住宅行き「般若寺」下車300m
駐車場あり

事業主のための障害者雇用支援制度(2)

障害者の雇用を継続するために受けられる助成金について

キャリアアップ助成金(障害者正社員化コース) 問い合わせ先:奈良労働局

障害者の雇用促進と職場定着を図るために、次の①または②のいずれかの措置を講じた場合に助成されます。

- ① 有期雇用労働者を正規雇用労働者、多様な正社員または無期雇用労働者に転換すること
- ② 無期雇用労働者を正規雇用労働者または多様な正社員に転換すること

※ 助成金は、措置ごとに異なります。

(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構奈良支部で受け付けている助成金の例

■障害者作業施設設置等助成金

障害者の障害特性による就労上の課題を克服する作業施設などの設置・整備を行う事業主に対して助成されます。

※助成額は、支給対象費用の2/3です。

■職場適応援助者助成金

ジョブコーチ(職場適応援助者)による援助を必要とする障害者のために、支援計画に基づき企業在籍型ジョブコーチによる初回の支援を実施する事業主に対して助成されます。

※訪問型ジョブコーチについては、ジョブコーチ支援を提供する社会福祉法人などが支給対象となります。

■重度障害者等通勤対策助成金

障害者の障害特性に応じ、通勤を容易にするための措置を行う事業主に対して助成されます。

※助成額は、支給対象費用の3/4です。

■障害者介助等助成金

障害者の障害特性に応じた適切な雇用管理のために必要な介助者の配置などの特別な措置を行う事業主に対して助成されます。

※助成額は、支給対象費用の一部であり、措置ごとに異なります。

障害者を雇用した後の支援を受けたい方へ

ジョブコーチによる支援 問い合わせ先:奈良障害者職業センター

ジョブコーチは、障害者の職場適応に向けた支援として、以下の2点を行っています。

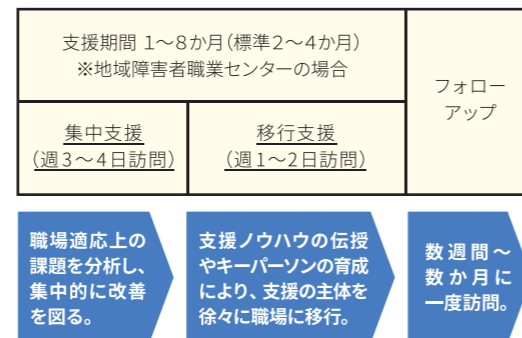
- ・ 障害者に対して、職場の従業員との関わり方や、効率の良い作業の進め方などをアドバイス
- ・ 事業主に対して、本人が力を発揮しやすい作業の提案や、障害特性を踏まえた仕事の教え方などをアドバイス

● ジョブコーチには、次の3つの形があります。

- 1 配置型** 地域障害者職業センターに所属するジョブコーチが、事業所に出向いて支援を行います。
- 2 訪問型** 就労支援を行っている社会福祉法人などに所属するジョブコーチが、事業所に出向いて支援を行います。
- 3 企業在籍型※** 自社の従業員がジョブコーチ養成研修を受けて、自社で雇用する障害者の支援を行います。

※企業在籍型ジョブコーチによる支援を実施する事業主に対しては助成金制度があります。

〈標準的な支援の流れ〉



厚生労働省・奈良労働局

事業主のための障害者雇用支援制度(1)

障害者を雇い入れた場合に受けられる助成金について

事業主に対して、経済的負担の軽減などのための助成を行っています。助成金を受給するためには、受給要件や支給申請期間に注意が必要です。ここでは、4種類の助成金の概要をご紹介します。各助成金の詳しい内容は、ハローワークにお問い合わせください。

障害者を試行的に雇用する事業主の方には

トライアル雇用助成金(障害者トライアルコース)

問い合わせ先:各ハローワーク

就職が困難な障害者を、ハローワークなどの紹介により、一定期間試用雇用する事業主に対して助成されます。

■助成額等

精神障害者以外の場合	●助成期間:最長3か月 ただし、テレワークによる勤務を行う者は、最大6か月まで延長可能	●トライアル雇用期間:原則3か月
	●助成額:1人あたり月額最大4万円	
精神障害者の場合	●助成期間:最長6か月	●トライアル雇用期間:原則6~12か月
	●助成額:雇入れから3か月間 雇入れから4か月以降	●1人あたり月額最大8万円 ●1人あたり月額最大4万円

トライアル雇用助成金(障害者短時間トライアルコース)

(障害者短時間トライアルコース)

問い合わせ先:各ハローワーク

直ちに週20時間以上勤務することが難しい精神障害者や発達障害者について、3~12か月の期間をかけながら20時間以上勤務を目指して試用雇用を行う事業主に対して助成されます。

■助成額(助成期間)

支給対象者1人につき
月額最大4万円(最長12か月)

障害者を雇い入れようとする事業主の方には

特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者コース)

問い合わせ先:各ハローワーク

障害者などの就職困難者を、ハローワークなどの紹介により、継続して雇用する労働者として雇い入れた^{※1}事業主に対して助成されます。

■助成額(助成期間)

対象労働者が身体・知的障害者(短時間労働者以外)である場合	大企業:50万円(1年) 中小企業:120万円(2年)
対象労働者が短時間労働者以外の重度障害者など(重度障害者、45歳以上の障害者、精神障害者)である場合	大企業:100万円(1年6か月) 中小企業:240万円(3年)
対象労働者が障害者(短時間労働者)である場合	大企業:30万円(1年) 中小企業:80万円(2年)

※1 雇用保険一般被保険者として雇い入れ、対象労働者の年齢が65歳以上に達するまで継続して雇用し、かつ、その雇用期間が継続して2年以上(重度障害者などを短時間労働者以外として雇い入れる場合には3年以上)であることが確実と認められること。

特定求職者雇用開発助成金(発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース)

(発達障害者・難治性疾患患者雇用開発コース)

問い合わせ先:各ハローワーク

発達障害者や難病患者をハローワークなどの紹介により、継続して雇用する労働者として雇い入れた^{※2}事業主に対して助成されます。

■助成額(助成期間)

対象労働者が短時間労働者以外である場合	大企業:50万円(1年) 中小企業:120万円(2年)
対象労働者が短時間労働者である場合	大企業:30万円(1年) 中小企業:80万円(2年)

※2 雇用保険一般被保険者として雇い入れ、対象労働者の年齢が65歳以上に達するまで継続して雇用し、かつ、その雇用期間が継続して2年以上であることが確実と認められること。

詳しくは、奈良労働局または各ハローワークへお問い合わせください。なお、お問い合わせ先については、最終ページ(裏面)をご参照ください。